

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東京国立博物館託児サービス請負業務	
契約締結日	平成26年12月11日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社マザーズ	
入札経緯及び結果	平成26年11月7日 入札公告	
	平成26年12月1日 関係書類提出締切	
	平成26年12月8日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務に必要な消耗品や什器類は、発注者が負担するよう仕様を緩和した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	3ヶ月以上の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	○	2社が入札説明書を受領した。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
今後も仕様の見直しを行う予定である。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	「MUSEUM 東京国立博物館研究誌」印刷請負業務	
契約締結日	平成27年2月10日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社中央公論事業出版	
入札経緯及び結果	平成26年12月19日 公告	
	平成27年1月9日 関係書類提出締切	
	平成27年2月10日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本業務における成果物は書店等を通じて販売しているものであり、大幅な仕様変更は難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前年度より4ヶ月早く公告した。また、20日間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を24日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に参加表明をした業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
特になし		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
<p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。</p>		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	事前公募型随意契約	
契約の件名及び数量	クラウド型図書館システム導入作業及び保守業務	
契約締結日	平成27年2月16日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本事務器株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年12月26日 公募公告	
	平成27年1月16日 関係書類提出締切	
	平成27年2月16日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	大幅な仕様の変更は難しいため、大きく変更はしていない。
②業務等準備期間の十分な確保	○	2週間以上の準備期間を設けている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を22日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	なし
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
特になし		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	事前確認公募	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館ネットワークシステム等保守一式	
契約締結日	平成27年3月10日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ソリューションズ	
入札経緯及び結果	平成27年2月9日 公募公告	
	平成27年3月2日 関係書類提出締切	
	平成27年3月10日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	今後は見直しを検討する。
②業務等準備期間の十分な確保	○	従前と同様4週間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に参加表明をした業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
今後も仕様の見直しを行う予定である。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	5	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	九州国立博物館ホームページおよびWebコンテンツ編集・制作・維持管理等業務一式	
契約締結日	平成27年2月18日	
契約の相手方の商号又は名称等	デジタル工房森組	
入札経緯及び結果	平成27年1月8日 公募公告	
	平成27年1月28日 関係書類提出締切	
	平成27年2月18日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実態に合わせた仕様の見直しを行い、応募予定事業者に分かりやすい内容となるよう、配慮している。
②業務等準備期間の十分な確保	○	1ヶ月半程度確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	○	契約相手方以外に、2社が仕様書を受領したが、請負体制の整備が困難などの理由で辞退した。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
特になし		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組みを続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組みを継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	6	
入札及び契約方式	事前確認公募	
契約の件名及び数量	九州国立博物館 一般財団法人NHKエンジニアリングシステム製スーパーハイビジョン映像システムの運用操作及び設備点検・保守業務 一式	
契約締結日	平成27年3月6日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般財団法人NHKエンジニアリングシステム	
入札経緯及び結果	平成27年2月12日 公募公告	
	平成27年3月4日 関係書類提出締切	
	平成27年3月6日 随意契約	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせた最低限の見直しは行っている。但し、本業務は高度な専門性が必要とされることから、大幅な変更は困難である。
②業務等準備期間の十分な確保	○	約1カ月確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	政府・他法人と協同して、合理的システムが開発できるかどうか検討する予定である。
⑥業者等からの聴き取り	○	説明書の受領並びに参加表明は、契約事業者のみであった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
特になし		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。